

南部大型開発 問題が目白押し



京都府のフードテックヒル（イメージ図）

城陽市の新名神高速道路の側道である「東部丘陵線」の新規事業を、2024年度は抑制し、「厳しい財政難のため」としています。開発優先で厳しくなった財政を立て直す必要があります。

けいはんな学研都市（京田辺市）では、2025年10月から事業費179億円をかけて京都府のフードテック構想の集積拠点整備を進めています。

JR向日町東口駅前再開発では130メートル・38階のタワーマンションが計画されています。京都府は2025年度までに、総事業費206億円のうち58億円の補助事業の支援をしています。周辺では空き家も増えていて、まちづくりの方向が見えません。

高校再編・通学費補助

府教育委員会は少子化を理由に「府立高校の再編整備の考え方」を策定し、今後の高校統廃合を計画しています。一方、「2024年問題」による人手不足や利用者減で、鉄道・バスは路線廃止や減便が全国的に相次いでいます。府内でも減便・廃止で、地域によっては「始

発に乗っても授業開始時刻に間に合わない」「仕事を抜け、子どもの送迎をしている」など、高校通学に大きな影響が生じています。これ以上の高校統廃合は、高校に通えない地域を生みかねません。高校存続、重い通学費補助の拡充こそ必要です。

大幅賃上げ実現へ 中小企業へ直接的支援を

中小企業の休業業・解散が2年連続の増加、ギリギリの状況にある中小企業が持続的に賃上げできるようにするためにも直接支援が求められています。すでに実施をしている岩手県、群馬県、茨城県などで賃上げの大きな効果が確認されています。



島田けい子（京都市右京区）

議員団長、危機管理・健康福祉常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会



みつなが敦彦（京都市左京区）

議員団幹事長、農商工労働常任委員会、文化力と価値創造に関する特別委員会



浜田よしゆき（京都市北区）

議員団副団長、文化生活・教育常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



さこ祐仁（京都市上京区）

農商工労働常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



成宮まり子（京都市西京区）

文化生活・教育常任委員会、新技術と社会づくりに関する特別委員会



ばばこうへい（京都市伏見区）

政策環境建設常任委員会、子育て環境の充実にに関する特別委員会



水谷修（宇治市・久御山町）

政策環境建設常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会



森よしはる（京都市南区）

総務・警察常任委員会、子育て環境の充実にに関する特別委員会



田中ふじこ（京都市中京区）

危機管理・健康福祉常任委員会、新技術と社会づくりに関する特別委員会